

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月03日

計画の名称	白井市下水道における浸水対策・改築更新の推進（防災・安全）													
計画の期間	平成28年度～平成28年度（1年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	白井市													
計画の目標	下水道施設の整備と適正な維持管理を進めることにより、安全で快適な生活環境を確保します。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		50	A	50	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	下水道による都市浸水対策達成率を29.80% (521.9ha) から (H28) から29.85% (522.9ha) (H32) に増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積 (ha) / 浸水対策を実施すべき面積 (ha)	522ha	522ha	523ha
2	長寿命化計画の策定達成率をH28(0%) からH32(100%) とする。 下水道ストックマネジメント計画の策定 下水道ストックマネジメント計画策定済/下水道ストックマネジメント計画策定数	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。														

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	H32				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	白井市	直接	-	管渠（雨水）	新設	神埼23号雨水枝線整備（浸水対策）	600～ 700× L=88m	白井市						0	-		
	A07-002	下水道	一般	白井市	直接	-	管渠（雨水）	新設	神埼20号雨水幹線・30号雨水枝線整備（浸水対策）	1300～ 2500× L=30m	白井市						41	-		
	A07-003	下水道	一般	白井市	直接	-	管渠（汚水）	改築	下水道ストックマネジメント計画策定（改築更新）	下水道ストックマネジメント計画策定業務 1式	白井市						9	未策定	未策定	
	下水道ストックマネジメント																			
												小計						50		
												合計						50		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
白井市社会資本総合整備計画事後評価機関である「白井市上下水道事業審議会」において実施	令和5年1月
	公表の方法 市ホームページ上にて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道施設の整備により、都市浸水対策達成率が向上した。 下水道施設の今後の老朽化の進展状況を考慮しながら計画的な点検・調査や修繕・改築を実施するため、「下水道ストックマネジメント計画」を策定し、今後の修繕・改築需要等について整理した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
既成市街地の雨水整備を進める計画としており、富士地区（神崎30号雨水枝線整備）の都市浸水対策を進める。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道による都市浸水対策達成率	
	最終目標値	523ha
	最終実績値	523ha
目標値が面積単位となっているが、成果目標である達成率で表すと最終目標値29.85%に対し最終実績値29.85%となり、成果目標を達成した。		
2	下水道ストックマネジメント計画の策定	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%